

# 記入例

(様式1)

2022 地域課題解決にむけた居場所づくり応援プロジェクト助成金交付申請書

提出した日を記入ください。

令和 年 月 日

社会福祉法人奈良市社会福祉協議会  
会長 福井重忠 宛

団体の所在地を記入ください。

申請者  
所在地：

団体名：

代表者：

印

連絡先：

標記助成金について次のとおり申請します。

記

1 事業名：

(様式3-1)の事業計画書の事業名と同じ

2 事業対象者：

(様式3-1)の事業計画書の対象者と同じ

3 事業費総額：

(様式4)の収支予算書の金額と同じ

円

4 助成希望額：

円

添付書類

(様式4)の収支予算書の金額と同じ

- (1) 団体概要書 (様式2)
- (2) 事業実施計画書 (様式3-1) (様式3-2)
- (3) 事業資金計画書 (様式4)
- (4) 役員名簿
- (5) 会則又は定款
- (6) 当該事業に関する資料 (任意)

# 記入例

2022 地域課題解決にむけた居場所づくり応援プロジェクト

(様式2)

## 団 体 概 要 書

ふりがな	〇〇〇〇〇のかい
団体名	〇〇〇〇〇の会
代表者名	奈良 次郎
団体所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 奈良市〇〇町〇〇番地
団体連絡先	電話：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 メール：〇〇〇〇@〇〇〇. 〇〇. 〇〇
設立年月日又は設立予定	〇〇年〇〇月〇〇日
活動目的	孤立を感じて生活している子どもに対し、地域内に安心して通える場の設置を通して、子どもたちの孤立感の解消と地域とのつながりづくりをめざす。
活動内容	〇〇集会所にて毎月第1土曜日の11時から14時の間、子ども食堂を実施し、子どもと一緒に調理や食事を楽しむとともに、夏休みなどの長休みの間は、宿題などを皆で教えあうなど、地域における子どもの居場所づくりの一端を担う。
活動拠点(住所)	〇〇集会所(奈良市〇〇町〇〇番地)
会員数	8人
会費の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 年額 ・ <input type="radio"/> 月額) <u>1,000円/人</u>
ホームページの有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ホームページアドレス ( )

# 記入例

2022 地域課題解決にむけた居場所づくり応援プロジェクト

(様式3-1)

## 事業実施計画書

1. 事業名
子ども食堂開設事業
2. 事業の目的(150字内)
孤独を感じながら生活している子どもがいることを色々な情報を基に知ることができた。今の時代、子育てを家族の頑張りだけでやっていくことは難しいと判断し、少しでも、子どもが笑顔で暮らせる社会づくりの一端を担うことができればとの思いからまずは、現在、メディア等で話題になっている子どもの孤食解消にむけ、子ども食堂の開設を考えている。
3. 事業の概要(150字内)
〇〇集会所にて毎月第1土曜日の11時から14時の間、子ども食堂を実施し、子どもと一緒に調理や食事を楽しむとともに、夏休みなどの長休みの間は宿題などを皆で教えあうなど、地域における子どもの居場所づくりに取り組む。
4. 事業の具体的な内容(実施内容・スケジュール等)
第1回 〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 調理と食事とレクリエーション活動 第2回 〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 調理と食事と自主学習 第3回 〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 調理と食事と皆でお話し
5. 助成金の使途 ※具体的にご記入ください。
食材(7,000円×12ヶ月) チラシ作成費(500円×12ヶ月) 集会所利用料(1,000円×12ヶ月)
6. 実施場所
〇〇集会所
7. 対象者
〇〇地区の小・中学生とその親
8. 周知方法
・学校や主任児童委員などに協力を求め、チラシや口コミ等で周知する。 ・SNSの利用
9. 期待される効果
子ども食堂の開設により、家庭以外の場で「楽しかったこと」や「悩んでいること」など、何でも気軽に話せる環境づくりを進めることにより、早い段階で子どもの異変に気づき、必要な支援につなげていくことができる。

## 記入例

2022 地域課題解決にむけた居場所づくり応援プロジェクト

(様式3-2)

### 事業実施計画書

<b>10. 事業実施における重要な5つのポイント</b> 申請事業において下の評価項目毎に「考え方」や「やり方」について記入ください。		
	評価項目	記入欄(各評価項目150字内)
1	公共性に関して	現在、社会問題となっている子どもの貧困は、各家庭の頑張りや行政だけでは脱することが出来ない課題であり、地域社会全体で考えるべきものである。
2	共感性に関して	子どもの貧困への取り組みは、資金面や人材面等、様々な方々の協力は不可欠です。よってこの活動を定期的に発行する広報紙による発信を通して、本活動への理解と参画を促す。
3	協働性に関して	家族以外で日常的に子どもたちと接触のある、学校や地域組織などとの協働は欠かせないと考えている。また、ボランティアグループやNPOとの協働も視野にいれており、お互いの強みを活かした運営を図っていききたい。
4	継続性に関して (2年間の資金見通し等)	現在、運営資金や食材を寄付頂けるよう様々な所にSNS等を通じてアプローチしており、数人の方からは次年度より寄付すると確約をいただいている。よって次年度からはこの助成金が無くなっても継続した運営が可能であると考えている。
5	発展性に関して	今後、活動を通して子どもや家庭のニーズを把握する中で、例えば、学校の授業についていけないという課題があれば学習のサポートを考えるなど、一つの枠に捕らわれないその時々々のニーズに応じた柔軟な対応を図っていく。

## 記入例

2022 地域課題解決にむけた居場所づくり応援プロジェクト

(様式4)

### 事業資金計画書

※申請事業にかかる今年度(令和4年度)の資金計画をご記入下さい。

収入の部

科目	金額 (単位: 円)	内 訳
当該助成金(希望額)	100,000	
会 費	8,000	1,000円×8名
寄付金	62,000	企業や個人からの寄付
		収入合計と支出合計は 同額にしてください。
合 計	170,000	

支出の部

科目	金額 (単位: 円)	内 訳
報償費	10,000	協力者養成講座講師の謝礼
消耗品費	12,920	コピー用紙・文具・名札等
給食費	84,000	食材費(1回7,000円×12ヶ月)
器具什器費	35,000	ミキサー(5,000円)・食事プレート(1,000円×30枚)
印刷製本費	6,000	印刷代(1回500円×12ヶ月)
賃借料	12,000	集会所使用料(1日1,000円×12ヶ月)
損害保険料	10,080	ボランティア行事用保険(1日840円×12ヶ月)
合 計	170,000	